

令和4年7月 斐伊川水系水質情報

令和4年7月(宍道湖8日・中海7日採水)								単位:mg/l(Chl-a: µg/l)		
項目	層	S-3(宍道湖湖心)			N-6(中海湖心)			米子湾中央部		
COD	全層	4.3	△	平年並み	3.5	△	平年並み	4.8	△	平年並み
全窒素	上層	0.41	△	平年並み	0.29	○	良好	0.39	○	良好(平年並み)
全リン	上層	0.055	△	平年並み	0.030	○	良好(平年並み)	0.060	△	平年並み
Chl-a	上層	11	○	良好	4.2	△	平年並み	18	△	平年並み
塩化物イオン	上層	5,180	☆	かなり高い	14,500	×	やや高い	14,600	☆	かなり高い
	下層	6,140	☆	かなり高い	19,200	☆	かなり高い	14,700	×	やや高い
溶存酸素	上層	7.5		やや低い	9.7		平年並み	9.9		平年並み
	下層	3.1		かなり低い	6.0		平年並み	9.4		平年並み

前月との比較		宍道湖湖心		中海湖心		米子湾中央部	
項目	層	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して
COD	全層	4.2	横ばい	3.0	やや上昇	4.0	やや上昇
全窒素	上層	0.32	やや上昇	0.27	横ばい	0.30	横ばい
全リン	上層	0.046	横ばい	0.031	横ばい	0.043	やや上昇

宍道湖の透明度は1.8mから1.9mと横ばいで、良好を維持。中海の透明度は4.4mから3.8mと下降したが、かなり良好。米子湾の透明度は2.7mから2.2mと下降し、平年並みになっている。

【評価基準】

前年まで過去10年間(平成19年までは5年間とした)のデータについて統計処理を行い、それに基づき下記の表現とする。

1. 水質値について

平均値＋標準偏差値の3倍	↑	★	<非常に高い>
平均値＋標準偏差値の2倍	↑	☆	<かなり高い>
平均値＋標準偏差値	↑	×	<やや高い>
10年間平均値	↑	△	<平年並み>
平均値－標準偏差値	↓		ただし、環境基準値以下の場合は<良好>とする。
平均値－標準偏差値の2倍	↓	○	<良好> ただし、環境基準値を下回らない場合は△で<やや低い>とする。
平均値－標準偏差値の3倍	↓	◎	<かなり良好> <かなり低い> (塩化物イオン)

2. 水質変化について

前月値±標準偏差値以上、以下の変化…… 上昇、下降 注) 平均値±標準偏差値 …… 全体のおよそ 68.2%
 前月値±標準偏差値の1/2以上、以下の変化… やや上昇、やや下降、横ばい 平均値±標準偏差値の2倍… 全体のおよそ 95.5%
 前月値±標準偏差値の1/2以内の変化… 横ばい 平均値±標準偏差値の3倍… 全体のおよそ 99.7%